

2011年7月2日

第3回 拡大教科書の在り方に関する公開シンポジウム 弱視教育における拡大教科書の役割と課題を考える

中野 泰志（慶應義塾大学）

現在、弱視教育において拡大教科書は注目されていますが、どのような拡大教科書を作成すればよいかに関しては、児童・生徒の視機能、発達段階、将来の進路等に応じたきめ細かな議論が必要です。また、児童生徒が十分な教育を受けることができるかどうかは、児童生徒の障害特性や発達段階等の個人特性と教材等の種類、教材等の活用方法、指導方法、環境整備等の環境特性との相互作用で決まると考えられます。そのため、様々な観点から総合的にこの問題を考えていく必要があります。私達の研究室では、一昨年度から、これらの問題を考えるために、文部科学省及び関係機関の協力により、基礎データを収集してきました。昨年度は、盲学校教員 1,848 人、弱視児童生徒 1,209 人（盲学校 338 人、通常学級 636 人、弱視特別支援学級 138 人、弱視通級指導教室 97 人）、教科書発行者 25 社（小中学校 15 社、高等学校 10 社）、ボランティア 72 団体、発達障害者 8 人の調査を実施しました。本シンポジウムでは、これらのデータの紹介した上で、今後の弱視教育と拡大教科書の在り方について意見交換を行いたいと思います。

プログラム

10時45分～10時50分 開会挨拶&趣旨説明

10時50分～11時20分 報告1「高等学校段階における弱視生徒用拡大教科書の在り方に関する調査研究」

報告概要：平成22年度文部科学省特別支援教育課「民間組織・支援技術を活用した特別支援教育研究事業」（発達障害等の障害特性に応じた教材・支援技術等の研究支援）で実施した「高等学校段階における弱視生徒用拡大教科書の在り方に関する調査研究」の概要を紹介します。本報告では、以下の3つの調査の結果を報告します。

- ・盲学校高等部 57 校に在籍している弱視生徒 338 名を対象にしたアンケート調査
- ・盲学校 68 校の教員 1,848 人を対象にしたアンケート調査
- ・盲学校から地域別にサンプリングした 17 校に在籍する 62 名の弱視生徒に対して実施した試作版拡大教科書を使ったフィールド実験

http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/research/largeprint/01_high_school/04_result/2010/index.html（報告書の URL）

11 時 20 分～12 時 報告 2 「標準規格の拡大教科書等の作成支援のための調査研究」

報告概要：平成 22 年度文部科学省教科書課からの委託で実施した「標準規格の拡大教科書等の作成支援のための調査研究」の概要を紹介します。本報告では、主に、以下の3点について報告します。

- ・教科書発行者 25 社（小中学校 15 社、高等学校 10 社）、ボランティア 72 団体を対象に実施したアンケート・ヒアリング調査
- ・小中学校に在籍している弱視児童生徒（通常学級 636 人、弱視特別支援学級 138 人、弱視通級指導教室 97 人）を対象にしたアンケート調査
- ・試作した拡大教科書選定支援キット（サンプル版拡大教科書を含む）

http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/research/largeprint/02_standard/2010/index.html（報告書の URL）

12 時～13 時 休憩（昼食：キャンパス内には学食もありますし、駅周辺には飲食店が多数あります）

13 時～14 時 30 分 パネルディスカッション「弱視教育における拡大教科書の役割と課題」

話題提供：露崎 謙治（横浜市立盲特別支援学校）

話題提供：渡辺 能理夫（東京書籍）

話題提供：土屋 宏（全国拡大教材製作協議会）

話題提供：氏間 和仁（広島大学）

コメンテーター（指定討論）：香川 邦生（元健康科学大学）

司会：中野 泰志（慶應義塾大学）

14 時 30 分～14 時 35 分 閉会挨拶

「弱視児童生徒用拡大教科書や拡大補助具等の在り方に関する研究のホームページ」

<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/research/largeprint/index.html>

問い合わせ先

〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1

慶應義塾大学 日吉心理学教室 中野泰志研究室

メールアドレス info@nakanoy.econ.keio.ac.jp

ホームページ <http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>

★ 本シンポジウムは、文部科学省科学研究費「拡大教科書選定のための評価システムの開発」（課題番号：22330261）の研究の一貫として実施いたします。